
PT200e シリーズ

PT400e シリーズ

プリンタ設定ツール説明書

目次

1.	はじめに	1
2.	ご使用の前に	2
3.	プリンタ設定ツール使用方法	3
4.	巡回設定	10
5.	ファイル	11
5.1	設定ファイルの読み込み	11
5.2	設定ファイルの保存	12
5.2.1	新規保存の場合	12
5.2.2	上書き保存の場合	12
6.	ツール設定	13
6.1	RS-232C設定	13
6.2	無線LAN設定	14
6.3	USB設定	15
6.4	プロトコル設定	16
7.	プリンタ設定	17
7.1	RS-232C設定	17
7.2	無線LAN設定	18
7.3	IrDA設定	22
7.4	Bluetooth設定	23
7.5	プロトコル設定	25
8.	情報取得	27
8.1	プリンタ情報	27
8.2	センサ情報	28
9.	その他	30
9.1	プリンタ ID設定	30
9.2	printキー設定	31
9.3	プログラム転送	32
9.4	LED点滅間隔切替え設定 (PT200eのみ)	35

プリンタ設定ツール

1. はじめに

プリンタ設定ツールはプリンタの動作設定や情報取得を行うソフトウェアです。
本書は以下に示す機種種のプリンタ設定ツールに関して説明しています。

- ・PT200e シリーズ（プチラパン） : PT200e / 208e / 208m / 208j
- ・PT400e シリーズ（ラパン） : PT408e / 412e

プリンタ設定ツールには、x86 版(32 ビット OS 用)と x64 版(64 ビット OS 用)の 2 種類があります。
動作対象 OS は以下となります。

- 32 ビット OS : Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10
Windows Server 2003 / 2008
- 64 ビット OS : Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 / 11
Windows Server 2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016 / 2019 / 2022

※ ARM 版 Windows は動作対象外となります。

本書では主に Windows 7 上における PT408e 用プリンタ設定ツールの画面を使用しています。そのため、実際にお使いになる OS、機種によっては画面構成が異なる場合がありますのでご了承ください。

<USB インタフェースを使用する場合>

PT400e シリーズに対して USB インタフェースを使用する場合は、以下の点にご留意ください。
※PT200e シリーズは USB インタフェースを搭載していません。

i) PT400e シリーズのファームウェアが Ver. 27.00.02.00 より古い場合

※Ver. 27.00.02.00 の 1 つ前のバージョンは Ver. 27.00.01.08 です。

- ①32 ビット OS 環境(32 ビット OS 用プリンタ設定ツール)でしか USB インタフェースは使用できません。
- ②プリンタ設定ツールを使用する前に、予め USB インタフェースを使用する構成でプリンタドライバをインストールしておく必要があります。インストール手順は別紙「プリンタドライバ説明書（第 10 版以降）」をご参照ください。

ii) PT400e シリーズのファームウェアが Ver. 27.00.02.00 以降の場合

- ①32 ビット OS/64 ビット OS のいずれの環境でも USB インタフェースを使用できます。
プリンタ設定ツールは Ver. 14.0.1.20 以降を使用する必要があります。
- ②予めプリンタドライバをインストールしておかなくても USB インタフェースを使用することができます。ただしプリンタドライバも使用する場合は、プリンタ設定ツールを使用する前に、予め USB インタフェースを使用する構成でプリンタドライバをインストールしておいてください。インストール手順は別紙「プリンタドライバ説明書（第 10 版以降）」をご参照ください。

ファームウェア Ver. は以下のいずれかの方法で確認することができます。

- ◆LCD 搭載プリンタの場合は、プリンタの起動時に LCD に表示されます。
- ◆プリンタ設定ツールから「工場テスト印字」を実行すると、接続先プリンタから工場テスト印字が実行されます。印字内容の「Prog Ver.」項目がファームウェア Ver. です。

プリンタ設定ツール

2. ご使用の前に

ソフトウェアを使用する前にプリンタを準備する必要があります。
以下の手順に従ってプリンタ本体を操作してください。

1. プリンタの電源が OFF になっていることを確認します。
2. ご使用になるインタフェースに合わせてプリンタのディップスイッチ (DSW) を設定します。

表 2-2 ラパン・プチラパンディップスイッチ表

	DSW1	DSW2	DSW3	DSW4
RS-232C	OFF	OFF	OFF	OFF
無線 LAN	OFF	ON	OFF	OFF
USB	ON	ON	OFF	OFF

3. プリンタを RS-232C ケーブル、もしくは USB ケーブルで PC と接続します。

※無線 LAN を使用する場合、ケーブル接続は必要ありません。ただし、通信を行う為にはプリンタ本体にあらかじめネットワークに接続する為の設定が行われている必要があります。

※PT200e シリーズは USB インタフェースを搭載していません。

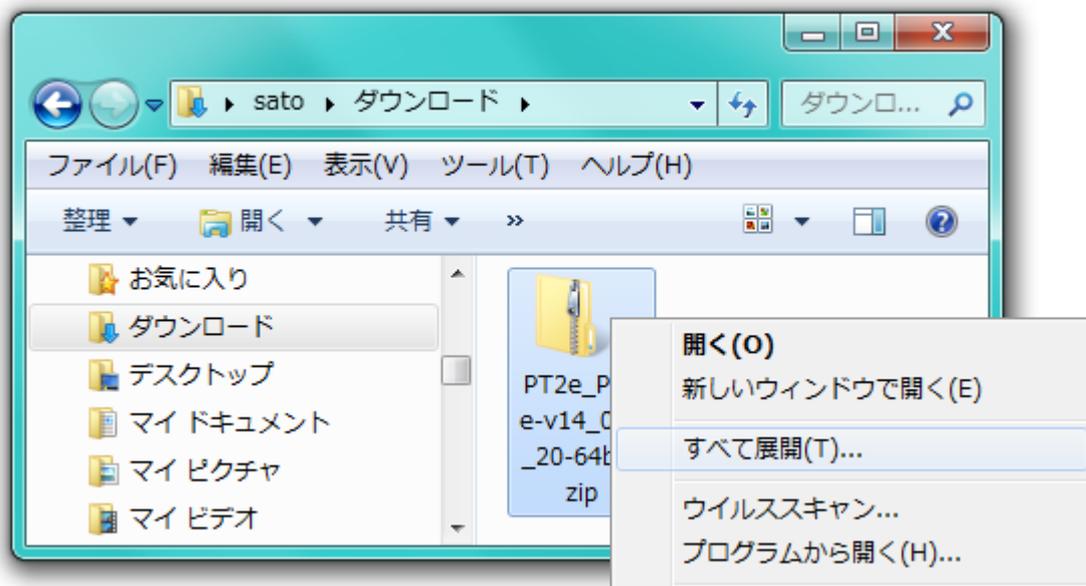
4. プリンタの電源を ON にし、プリンタの準備を行います。

プリンタ設定ツール

3. プリンタ設定ツール使用方法

最初にプリンタ設定ツールをインストールします。

[SATOダウンロード・サイト](#)より、ラパン・プチラパンのプリンタ設定ツールをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルはzip形式で圧縮されておりますので解凍してください（操作例：ファイルを右クリックして「すべて展開(T)...」を選択）。



解凍後、以下に示すファイルをダブルクリックしてください。

i) 64 ビット OS の場合

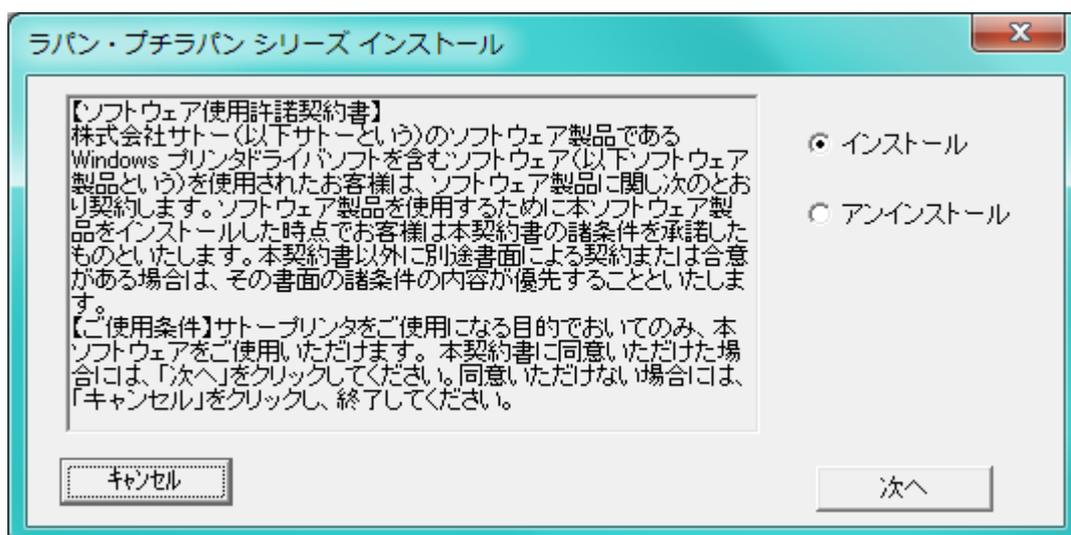
 AppInst_PT400e_x64.exe
種類: アプリケーション

ii) 32 ビット OS の場合

 AppInst_PT400e_x86.exe
種類: アプリケーション

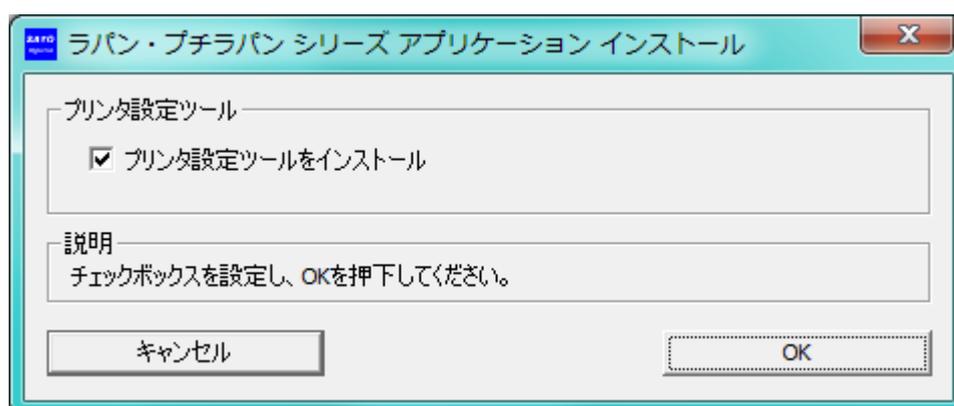
プリンタ設定ツール

プリンタ設定ツールのインストーラ／アンインストーラが起動します。

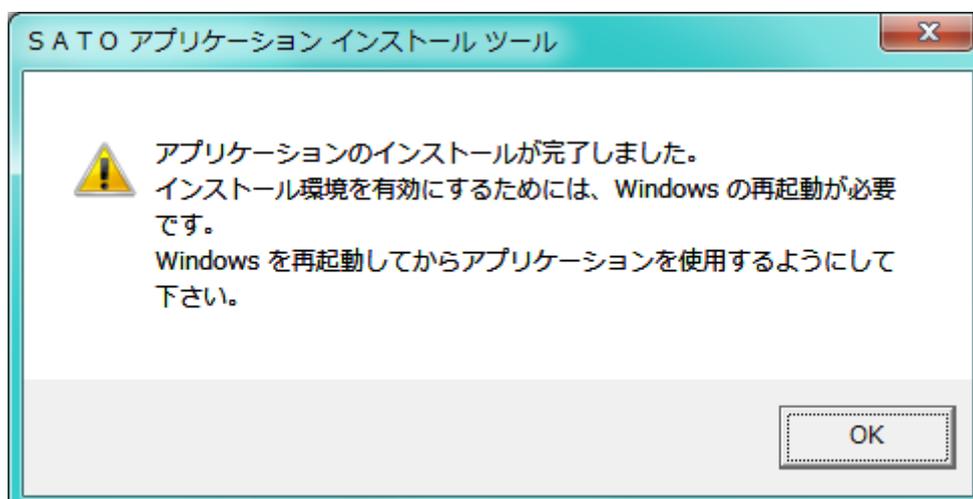


「インストール」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

※既にインストール済みのプリンタ設定ツールをアンインストールする場合は、「アンインストール」をチェックし、「次へ」をクリックすることでアンインストールが実行されます。

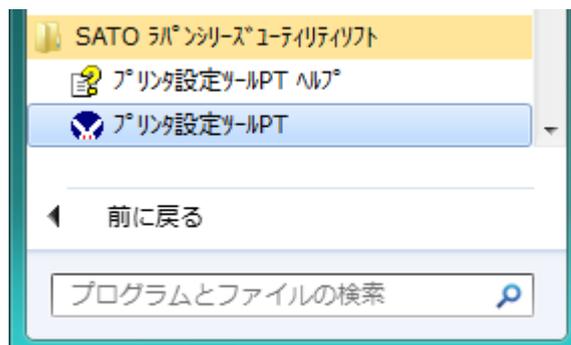


「プリンタ設定ツールをインストール」をチェックし、「OK」をクリックしてください。プリンタ設定ツールがインストールされた後、以下ダイアログが表示されますので、Windows を再起動してください。



プリンタ設定ツール

Windows 再起動後、スタートメニューの中に、「SATO ラパンシリーズユーティリティソフト」が登録されておりますので、その中の「プリンタ設定ツール PT」を選択してください。



プリンタ設定ツールが起動しますので、

「3. プリンタ選択画面でご利用になるプリンタ機種を選択して「OK」をクリックしてください。」へ進んでください。

なお、アクセサリ CD をご使用になる場合は、以下手順（1、2）をご参照ください。
※現在アクセサリ CD の提供は行っておりません。

1. ラパン&プチラパンプリンタ画面の「ユーティリティ」をクリックしてください。



図 3-1 ラパン&プチラパンプリンタ画面

2. ユーティリティ画面の「PT200e/PT408e/PT412e プリンタ設定ツール」を選択後、「起動」をクリックしてください。



図 3-2 ユーティリティ画面

プリンタ設定ツール

3. プリンタ選択画面でご利用になるプリンタ機種を選択して「OK」をクリックしてください。

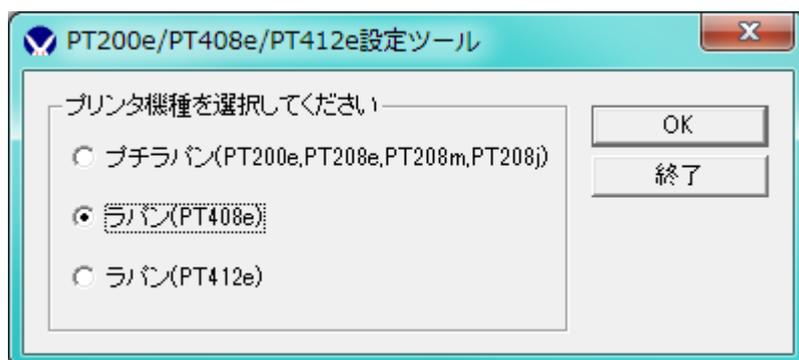


図 3-3 プリンタ選択画面

4. プリンタ設定画面が表示されます。設定項目の詳細は下記表を参照ください。



図 3-4 プリンタ設定画面

プリンタ設定ツール

表 3-4-1 PT200e 設定項目表

	PT200e	
画面項目	初期値	範囲
印字速度	75mm/s	75、103mm/s
印字濃度	普通	薄い、中薄、普通、中濃、濃い
用紙種	A	A、B、C
動作モード	ティアオフ	ティアオフ、連続
初期フィード	無効	無効、有効
発行モード	ラベル発行	ラベル発行、ジャーナル発行(動作1)、2色印字ラベル発行、2色印字ジャーナル発行、ノンセパ発行
ハクリ時動作	動作1(ヘッド位置)	動作1(ヘッド位置)、動作2(ハクリ位置)、バックフィード無し
センサ種	反射式センサ:アイマーク	反射式センサ:アイマーク、透過式センサ:ギャップ
オートパワーオフ時間	5分	0~999分
縦ラベルサイズ	1280dot	1~1280dot
横ラベルサイズ	384dot	1~384dot
縦基点補正	0dot	-300~300dot
横基点補正	0dot	-300~300dot
用紙ヒッチオフセット	0dot	-40~99dot
ティアオフセット	0dot	-99~99dot
ハクリオフセット	0dot	-40~99dot
漢字コード	シフトJISコード	シフトJISコード、JISコード
プロポーショナルヒッチ	解除	解除、指定
ゼブララッシュ	無効	無効、有効

表 3-4-2 PT408e 設定項目表

	PT408e	
画面項目	初期値	範囲
印字速度	75mm/s	75、103mm/s
印字濃度	普通	薄い、中薄、普通、中濃、濃い
用紙種	A	A、B、C
動作モード	ティアオフ	ティアオフ、連続
初期フィード	無効	無効、有効
発行モード	ラベル発行	ラベル発行、ジャーナル発行(動作1)、2色印字ラベル発行、2色印字ジャーナル発行、ノンセパ発行、ジャーナル発行(動作2) ※ジャーナル発行(動作2)はSBPLモードの時のみ設定できます。
ハクリ時動作	動作1(ヘッド位置)	動作1(ヘッド位置)、動作2(ハクリ位置)、バックフィード無し
センサ種	反射式センサ:アイマーク	反射式センサ:アイマーク、透過式センサ:ギャップ
オートパワーオフ時間	5分	0~999分
縦ラベルサイズ	2400dot	1~2400dot
横ラベルサイズ	832dot	1~832dot
縦基点補正	0dot	-999~999dot
横基点補正	0dot	-300~300dot
用紙ヒッチオフセット	0dot	-99~99dot
ティアオフセット	0dot	-99~99dot
ハクリオフセット	0dot	-99~99dot
漢字コード	シフトJISコード	シフトJISコード、JISコード
プロポーショナルヒッチ	解除	解除、指定
ゼブララッシュ	無効	無効、有効

プリンタ設定ツール

表 3-4-3 PT412e 設定項目表

画面項目	PT412e	
	初期値	範囲
印字速度	75mm/s	75、103mm/s
印字濃度	普通	薄い、中薄、普通、中濃、濃い
用紙種	A	A、B、C
動作モード	ティアオフ	ティアオフ、連続
初期フィード	無効	無効、有効
発行モード	ラベル発行	ラベル発行、ジャーナル発行(動作1)、2色印字ラベル発行、2色印字ジャーナル発行、ノンセパ発行、ジャーナル発行(動作2) ※ジャーナル発行(動作2)はSBPLモードの時のみ設定できます。
ハクリ時動作	動作1(ヘッド位置)	動作1(ヘッド位置)、動作2(ハクリ位置)、バックフィード無し
センサ種	反射式センサ:アイマーク	反射式センサ:アイマーク、透過式センサ:ギャップ
オートパワーオフ時間	5分	0~999分
縦ラベルサイズ	3600dot	1~3600dot
横ラベルサイズ	1248dot	1~1248dot
縦基点補正	0dot	-999~999dot
横基点補正	0dot	-300~300dot
用紙ヒッチオフセット	0dot	-99~99dot
ティアオフセット	0dot	-99~99dot
ハクリオフセット	0dot	-99~99dot
漢字コード	シフトJISコード	シフトJISコード、JISコード
プロポーショナルピッチ	解除	解除、指定
ゼロスラッシュ	無効	無効、有効

5. 設定変更後、「設定実行」をクリックしてください。



図 3-5 設定実行画面

6. 設定が完了すると設定完了画面が表示されます。

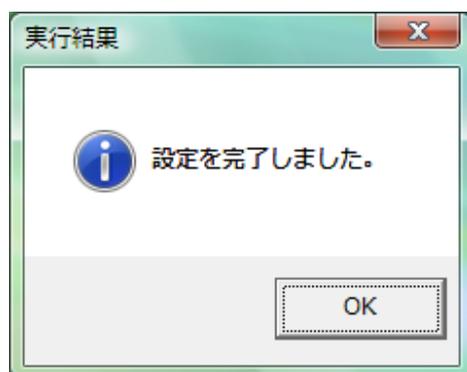


図 3-6 設定完了画面

プリンタ設定ツール

7. 「デフォルト値」をクリックするとプリンタ設定画面の項目内容が初期値になります。



図 3-7 デフォルト値画面

8. 「テスト印字」をクリックするとプリンタがテスト印字を行い、テスト印字実行画面が表示されます。また、「工場テスト印字」をクリックするとプリンタが工場テスト印字を行い、工場テスト印字実行画面が表示されます。

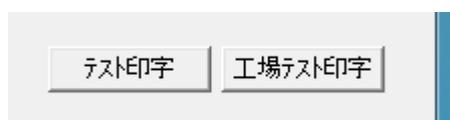


図 3-8-1 テスト印字・工場テスト印字画面

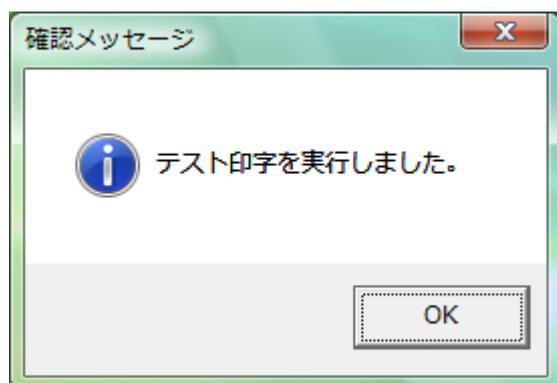


図 3-8-2 テスト印字実行画面

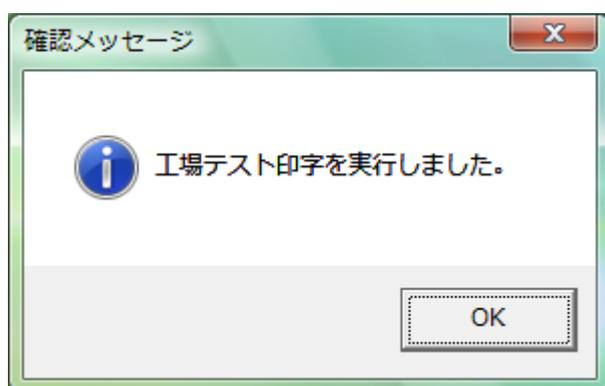


図 3-8-3 工場テスト印字実行画面

プリンタ設定ツール

4. 巡回設定

無線 LAN を使用した場合のみ巡回設定機能を使用できます。この機能を使用することで無線 LAN プリンタとしてプリンタ設定ツールに登録されている全てのプリンタに対して基本動作設定を実行する事ができます。

1. 「プリンタとの通信方法」で「基本動作設定を登録済みプリンタ全てに実行する」にチェックして「設定実行」をクリックします。

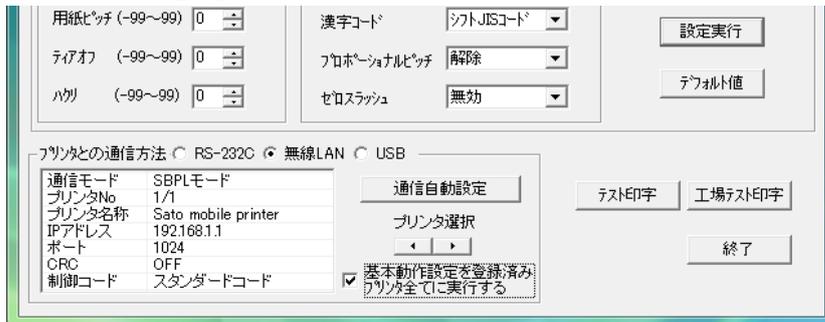


図 4-1 巡回設定画面

2. 巡回設定対象プリンター一覧画面の「巡回設定開始」をクリックしてください。



図 4-2 巡回設定対象プリンター一覧画面

3. 設定が完了すると下の画面が表示されます。※設定に失敗したプリンタはリストに残ります。ネットワーク設定等を確認した後に再び「巡回設定開始」をクリックしてください。

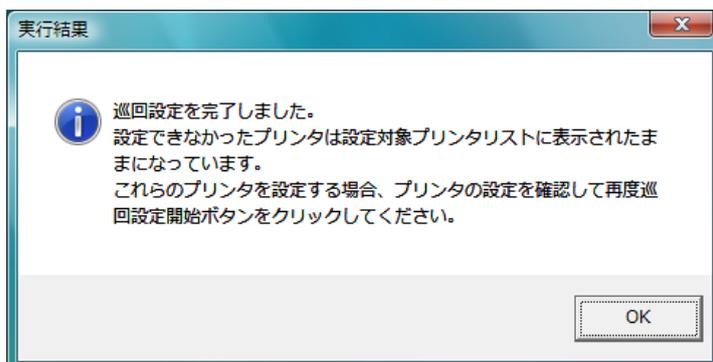


図 4-3 巡回設定完了画面

プリンタ設定ツール

5. ファイル

プリンタ設定ツールの設定情報をファイルに保存、読み込みする手順を説明します。

制限事項

- ※1. 設定情報の保存内容は、メイン画面の基本設定情報とプリンタとの通信方法、メニューのツール設定情報(RS-232CのCOMポート選択を除く)とプリンタ設定情報(無線LANのセキュリティ情報を除く)となります。
- ※2. 異なるプリンタ機種の設定ファイルは読み込みできません。
- ※3. 設定ファイルを故意にバイナリエディタ等で編集した場合の動作は保証しません。
- ※4. 保存した設定ファイルを古いバージョンのプリンタ設定ツールで読み込んだ場合の動作は保証しません。

5.1 設定ファイルの読み込み

1. 「ファイル(F)」メニューから「設定ファイルを読み込む(O)」を選択します。
※既に設定ファイルを開いていて設定値が変更されている場合、変更を保存するかを確認するダイアログが表示されます。

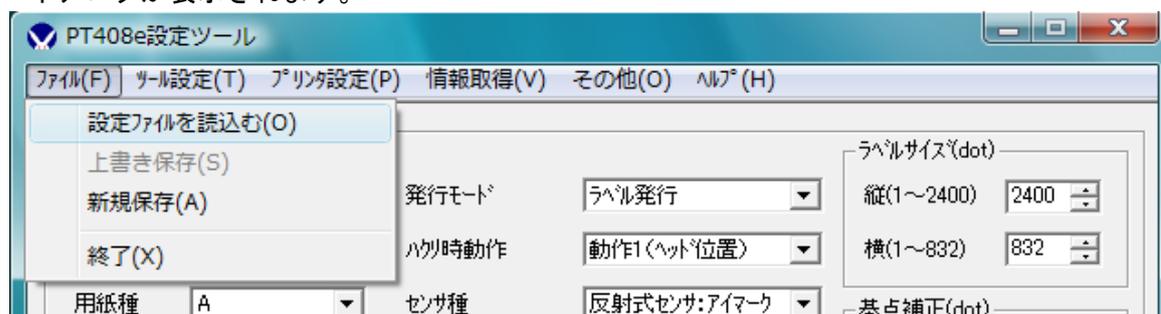


図 5-1-1 設定ファイル読み込み画像

2. 読み込む設定ファイルを選択して「開く(O)」をクリックします。

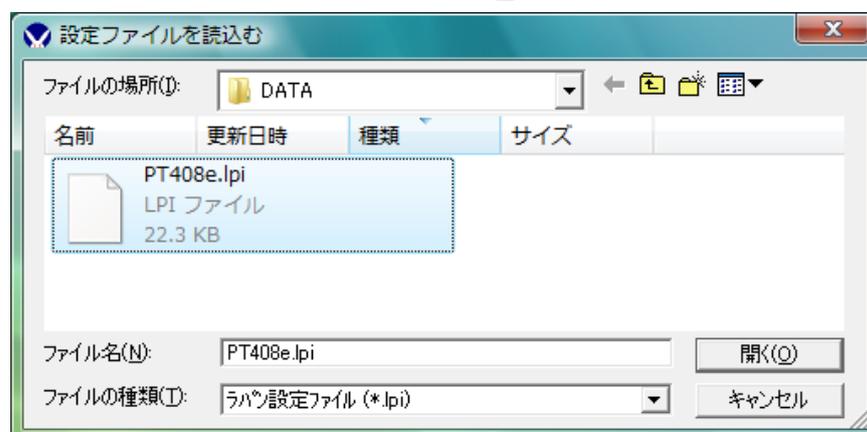


図 5-1-2 設定ファイル選択画面

3. 設定情報がプリンタ設定ツールに反映されます。

プリンタ設定ツール

5.2 設定ファイルの保存

5.2.1 新規保存の場合

1. 「ファイル(F)」メニューから「新規保存(A)」を選択します。

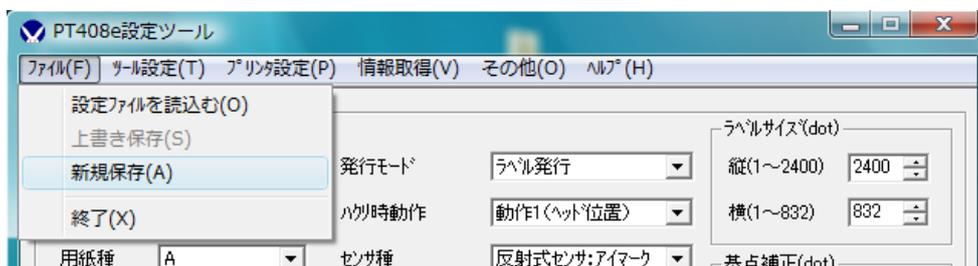


図 5-2-1-1 新規保存画面

2. 保存する設定ファイル名を入力して「保存(S)」をクリックします。



図 5-2-1-2 保存ファイル名入力画面

3. 指定した場所に設定ファイルが作成されます。

5.2.2 上書き保存の場合

1. 「ファイル(F)」メニューから「上書き保存(S)」を選択します。

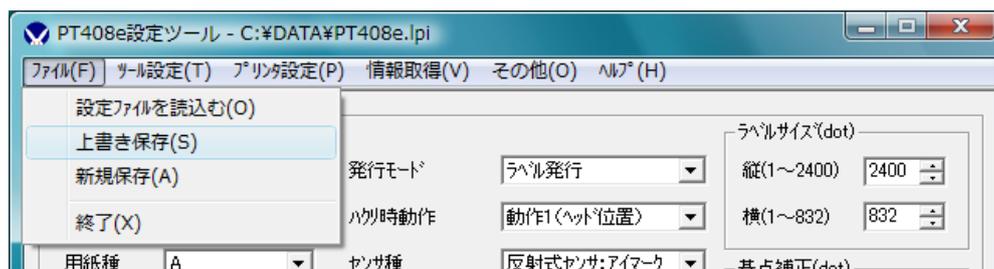


図 5-2-2-1 上書き保存画面

2. 読み込まれている設定ファイルに現在の設定値が上書き保存されます。
※設定ファイルを読み込んでいない場合は、「新規作成」の動作になり、保存ファイル名入力画面を表示します。

プリンタ設定ツール

6. ツール設定

本設定ツールがプリンタと通信を行う前にプリンタ本体と通信できるように設定するための設定を説明します。

6.1 RS-232C 設定

1. 「ツール設定 (T)」メニューから「RS-232C (R)」を選択します。

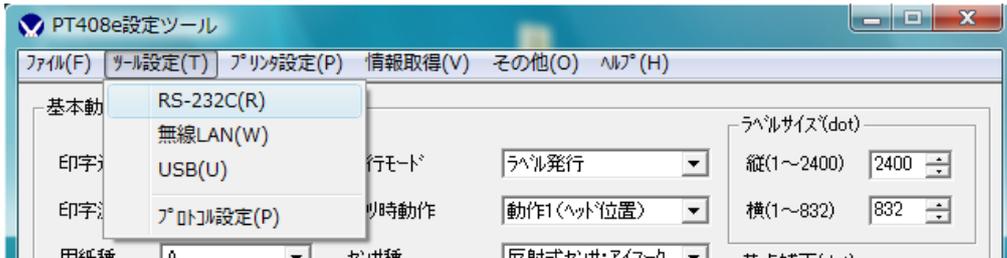


図 6-1-1 ツール設定 (RS-232C) 選択画面

2. RS-232C ケーブルを接続している COM ポートを選択し、ボーレートなどの通信設定をプリンタ本体に設定されている設定値と同じにします。



図 6-1-2 ツール設定 (RS-232C) 画面

表 6-1-2 COM ポート項目一覧表

項目	初期値	設定範囲
COM ポート 選択	COM1	COM1～COM20 の使用可能ポート
ボーレート	19200 (bps)	9600, 19200, 38400, 57600, 115200 (bps)
パリティ	NONE	NONE, ODD, EVEN
フロー制御	NONE	NONE, HARD (RTS/CTS)

3. 最後に「OK」をクリックしてください。

4. プリンタ設定画面の「プリンタとの通信方法」で RS-232C を選択してください。



図 6-1-4 プリンタ設定 (RS-232C) 画面

プリンタ設定ツール

6.2 無線 LAN 設定

1. 「ツール設定 (T)」メニューから「無線 LAN (W)」を選択します。

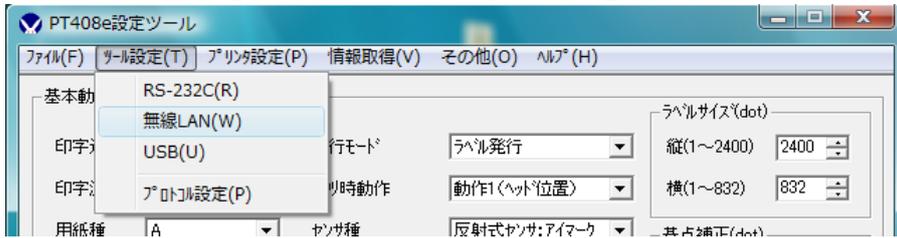


図 6-2-1 ツール設定 (無線 LAN) 選択画面

2. プリンタ設定ツール上で識別する為のプリンタ名称を入力し、ネットワークに接続されているプリンタの IP アドレスとポート番号を入力し、「追加」をクリックします。

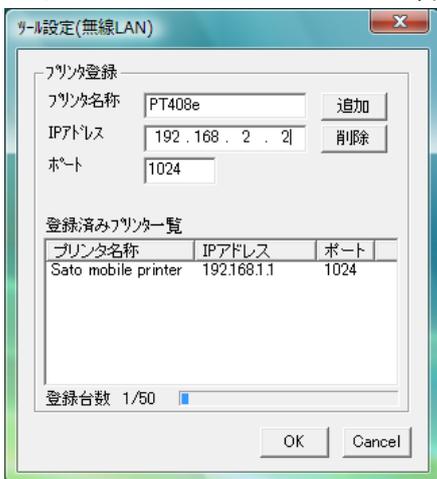


表 6-2-2 無線 LAN 項目一覧表

項目	初期値	設定範囲
プリンタ名称		半角英数 30 文字 (全角 15 文字) 以内
IP アドレス		xxx. xxx. xxx. xxx (xxx は 0~255)
ポート		1~9999

図 6-2-2 ツール設定 (無線 LAN) 画面

3. リストに存在する IP アドレスと同じ IP アドレスを指定した場合は上書き確認が表示されます。

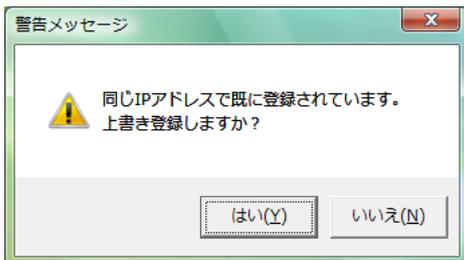


図 6-2-3 同一 IP アドレス登録確認画面

4. プリンタ設定画面の「プリンタとの通信方法」で無線 LAN を選択してください。



図 6-2-4 プリンタ設定 (無線 LAN) 画面

プリンタ設定ツール

6.3 USB 設定

1. 「ツール設定 (T)」メニューから「USB (U)」を選択します。

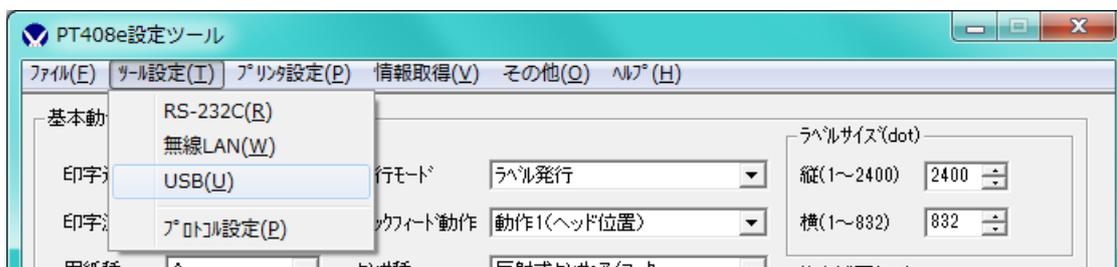


図 6-3-1 ツール設定 (USB) 選択画面

2. 「USB デバイス検索」をクリックします。



図 6-3-2 ツール設定 (USB) 画面

3. 接続するデバイスを選択後、「OK」をクリックしてください。
※1. 起動時に選択した機種で、PCにUSBデバイスとして認識されているプリンタが全て検索されます。
※2. レジストリに記載される値が異なるためデバイス名称の表示はOSにより異なります。



図 6-3-3 USB デバイス検索後画面

4. プリンタ設定画面の「プリンタとの通信方法」でUSBを選択してください。



図 6-3-4 プリンタ設定 (USB) 画面

プリンタ設定ツール

6.4 プロトコル設定

プリンタ本体との通信を行う為に、プリンタ本体側の設定値に合わせてツール側の設定値を変更するための設定です。

1. 「ツール設定 (T)」メニューから「プロトコル設定 (P)」を選択します。

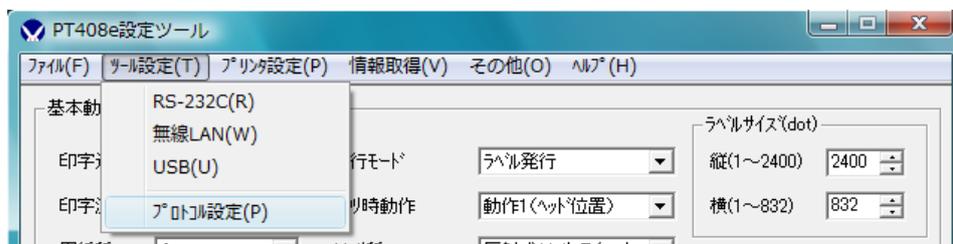


図 6-4-1 ツール設定（プロトコル設定）選択画面

2. 設定値を変更し、変更後は「OK」をクリックしてください。

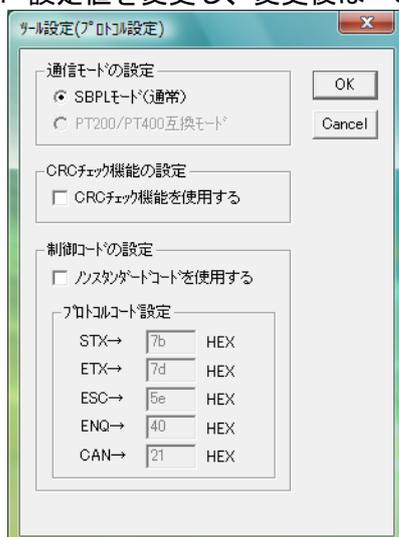


図 6-4-2 ツール設定（プロトコル設定）画面

表 6-4-2 ツール設定（プロトコル設定）項目一覧表

項目	設定範囲	制限
通信モードの設定	SBPLモード、PT200/PT400互換モード	「プリンタとの通信方法」でUSBが選択されている場合はSBPLモード固定になります。
CRCチェック機能の設定	ON、OFF	プリンタ本体側でこの機能が有効になるのは無線LAN、Bluetoothで動作している場合のみです。
制御コードの設定	ON、OFF	通信モードの設定がSBPLモードの場合のみ有効になります。
プロトコルコード設定	00~FF HEX	他のプロトコルコードと重複する値を設定することはできません。また、プロトコルコードに他の制御コードやコマンド、印字データに含まれるコードを指定した場合のプリンタの動作は保証されません。

プリンタ設定ツール

7. プリンタ設定

プリンタの通信設定を変更する手順を説明します。

7.1 RS-232C 設定

1. 「プリンタ設定(P)」メニューから「RS-232C(R)」を選択します。

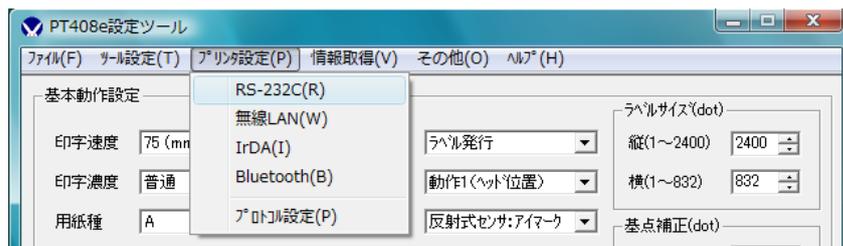


図 7-1-1 プリンタ設定 (RS-232C) 選択画面

2. ボーレート、パリティ、フロー制御の設定値を変更します。

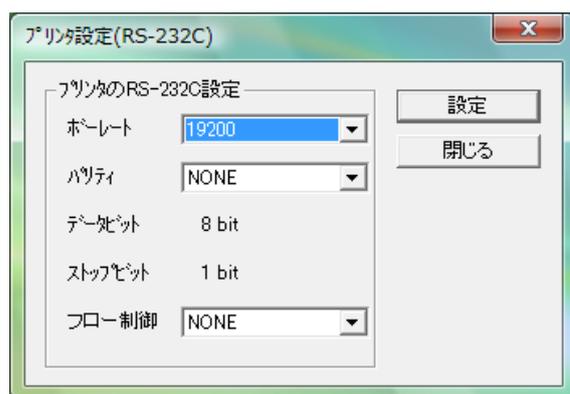


図 7-1-2 プリンタ設定 (RS-232C) 画面

表 7-1-2 プリンタ設定 (RS-232C) 項目一覧表

項目	初期値	設定範囲
ボーレート	19200 (bps)	9600, 19200, 38400, 57600, 115200 (bps)
パリティ	NONE	NONE, ODD, EVEN
フロー制御	NONE	NONE, HARD (RTS/CTS)

3. 「設定」をクリックしてプリンタに設定値を登録します。
4. 設定が完了すると下の画面が表示されます。「OK」をクリックし、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

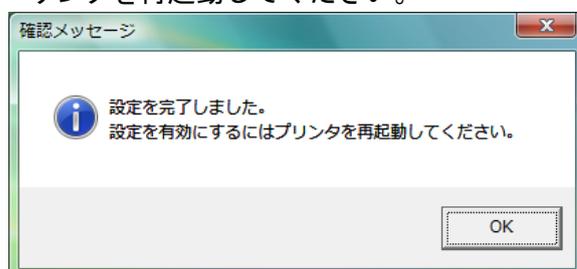


図 7-1-4 設定完了画面

プリンタ設定ツール

7.2 無線 LAN 設定

1. 「プリンタ設定 (P)」メニューから「無線 LAN (W)」を選択します。

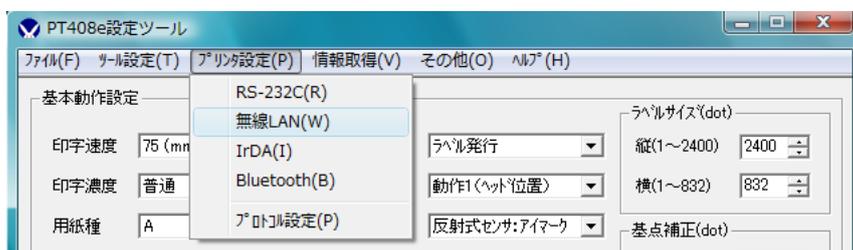


図 7-2-1 プリンタ設定（無線 LAN）選択画面

2. 無線 LAN の設定値を変更します。

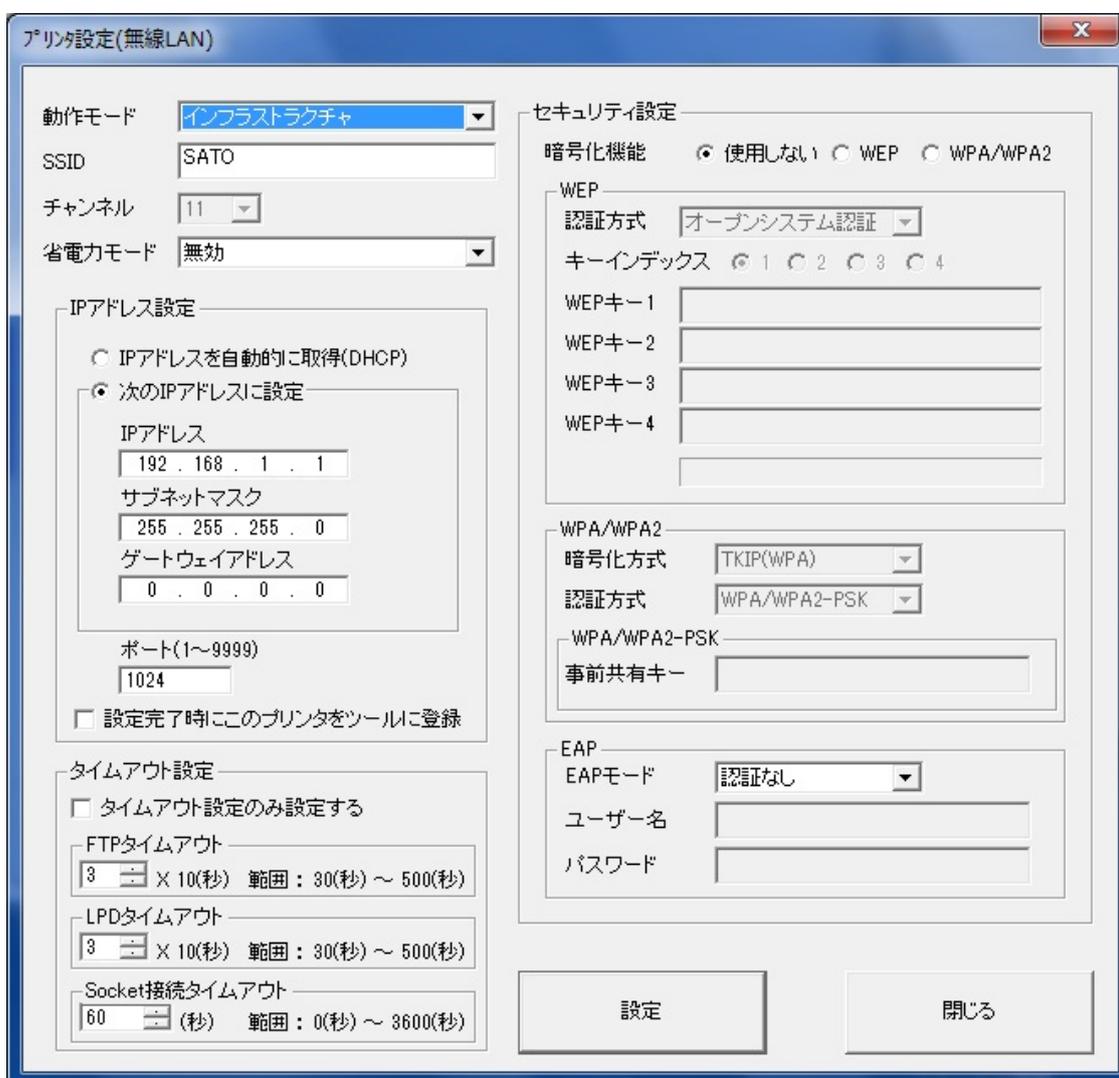


図 7-2-2 プリンタ設定（無線 LAN）画面

プリンタ設定ツール

表 7-2-2-1 プリンタ設定項目一覧表

項目	初期値	範囲
動作モード	インフラストラクチャ	インフラストラクチャ、アドホック
SSID	SATO	英数字, "-", "_", "." で示される 1~32 桁の文字列を指定します。
チャンネル ※1	11	1~14 チャンネル ※12~14 チャンネルは IEEE802.11 b/g 対応の無線 LAN モジュールを搭載したプリンタのみ設定できます。
省電力モード※2	無効	無効、モード 1~モード 5
DHCP	②	①IP アドレスを自動的に取得 (DHCP) ②次の IP アドレスに設定: IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを手動設定
IP アドレス	192.168.1.1	0.0.0.0~255.255.255.255
サブネットマスク	255.255.255.0	0.0.0.0~255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0 ※3	0.0.0.0~255.255.255.255
ポート番号	1024	1~9999
タイムアウト設定のみ設定	チェックなし	チェックを入れた場合はタイムアウト値のみ設定を行います。
FTP タイムアウト	30 秒	30 秒~500 秒
LPD タイムアウト	30 秒	30 秒~500 秒
Socket 接続タイムアウト	60 秒	0 秒~3600 秒

※1 動作モードがアドホックの場合のみ有効です。

※2 無線 LAN モジュールが IEEE802.11 b/g かつ、動作モードがインフラストラクチャの場合のみ有効です。

※3 ゲートウェイアドレスの設定を行う場合には、必ず IP アドレスと同一のサブネットであるアドレスを設定してください。

プリンタ設定ツール

表 7-2-2-2 セキュリティ設定項目一覧表

項目	初期値	範囲
セキュリティ種別	①使用しない	①使用しない ②WEP ③WPA/WPA2※1
WEP		
認証方式	なし	①オープンシステム認証 ②共有キー認証 ※共有キー認証は IEEE802.11 b/g 対応の無線 LAN モジュールを搭載したプリンタのみ設定できます。
キーインデックス	なし	WEP のキーインデックスを選択します。 1~4
WEP キー	なし	インデックスごとに WEP キーを①~⑤のいずれかの形式で指定します。 ①ASCII (5 文字) 使用可能文字 (0~9、A~Z、a~z、"-","_") ②ASCII (13 文字) 使用可能文字 (0~9、A~Z、a~z、"-","_") ③HEX (10 桁) 使用可能文字 (0~9、A~F、a~f) ④HEX (26 桁) 使用可能文字 (0~9、A~F、a~f) ⑤空白 プリンタの設定値を保持する為に WEP キーの設定を行いません。キーインデックスのみを変更したい場合などに指定します。
WPA		
暗号化方式 ※1	なし	WPA の暗号化方式を設定します。 ①TKIP (WPA) ②AES (WPA2) ※AES は IEEE802.11 b/g 対応の無線 LAN モジュールを搭載したプリンタのみ設定できます。
認証方式 ※1	なし	WPA/WPA2 の認証機能を設定します。 ①WPA/WPA2-PSK ②WPA/WPA2-EAP
事前共有キー ※1	なし	WPA/WPA2-PSK 使用時のみ入力可能です。 8~63 文字
EAP		
EAP モード ※1	認証なし	①認証なし (WPA/WPA2-EAP の場合はリストに表示されません。) ②EAP-MD5
ユーザー名 ※1	なし	1~63 文字の文字列を指定します。
パスワード ※1	なし	0~32 文字の文字列を指定します。

※1 動作モードがインフラストラクチャの場合のみ有効です。

【補足説明】

※ 無線 LAN 設定の全機能に対応したプリンタファーム、無線 LAN モジュールのバージョンは下記表を参照してください。

表 7-2-2-3 無線 LAN 設定対応表

プリンタ名	ファームバージョン	モジュールバージョン
PT200e	16.00.01.18 以降	2.2.6.4 以降
PT408e/PT412e	27.00.00.06 以降	2.2.6.4 以降

プリンタ設定ツール

3. 「設定」をクリックしてプリンタに設定値を登録します。

※IPアドレス設定でDHCPを使用しない場合、「設定完了時にこのプリンタをツールに登録」のチェックボックスにチェックして設定すると、設定完了後に設定したIPアドレスとポート番号をプリンタ設定ツールに登録できます。この際プリンタ名称は「Auto added printer」として登録されます。



図 7-2-3 プリンタ設定（無線LAN）画面

4. 設定が完了すると下の画面が表示されます。「OK」をクリックし、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

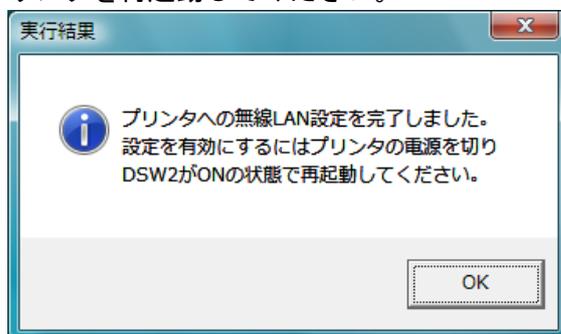


図 7-2-4 設定完了画面

プリンタ設定ツール

7.3 IrDA 設定

1. 「プリンタ設定(P)」メニューから「IrDA(I)」を選択します。

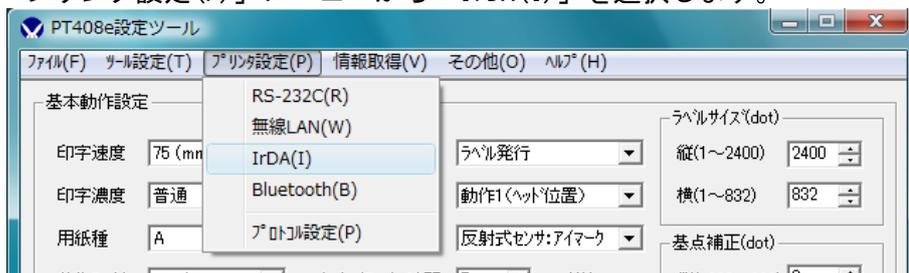


図 7-3-1 プリンタ設定 (IrDA) 選択画面

2. 設定値を変更します。



図 7-3-2 プリンタ設定 (IrDA) 画面

表 7-3-2 プリンタ設定 (IrDA) 項目一覧表

項目	初期値	範囲
ボーレート	19200 (bps)	9600, 19200, 38400, 57600, 115200 (bps) ※IrCOMM を選択した際は 19200 (bps) に設定されます。
タイムアウト時間	5 (秒)	5~99 (秒)
通信プロトコル	IrCOMM	標準プロトコル, BHT, IrCOMM, IrOBEX
デバイス名称	SATO MOBILE PRINTER	1~32 文字の英数字 (IrCOMM、IrOBEX 設定時に有効)
パリティ	NONE	NONE, ODD, EVEN (IrCOMM 設定時に有効)
フロー制御	NONE	NONE, HARD (RTS/CTS) (IrCOMM 設定時に有効)

3. 「設定」をクリックしてプリンタに設定値を登録します。
4. 設定が完了すると下の画面が表示されます。「OK」をクリックし、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

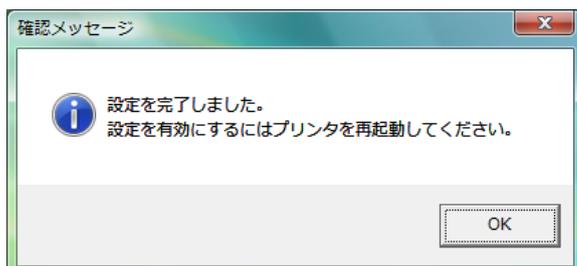


図 7-3-4 設定完了画面

プリンタ設定ツール

7.4 Bluetooth 設定

1. 「プリンタ設定 (P)」メニューから「Bluetooth (B)」を選択します。
※プリンタとの通信方法に無線 LAN を選択している場合、Bluetooth 設定は実行できません。

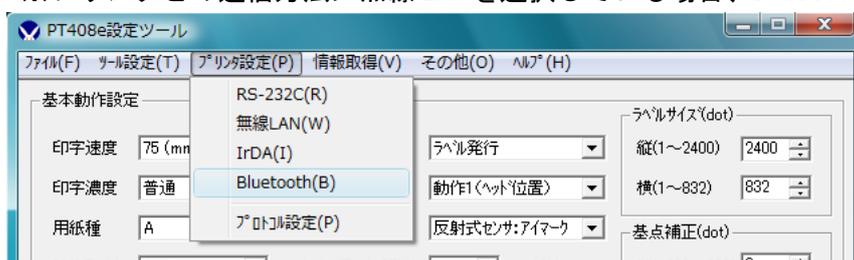


図 7-4-1 プリンタ設定 (Bluetooth) 選択画面

2. 設定値を変更します。



図 7-4-2 プリンタ設定 (Bluetooth) 画面

表 7-4-2 プリンタ設定 (Bluetooth) 項目一覧表

項目	初期値	範囲
認証モード	認証なし	以下の項目からセキュリティレベルを選択します。 認証なし, 認証レベル 2-1, 認証レベル 2-2, 認証レベル 3
PINコード	0000000000000000	制御コード以外の ASCII 文字 (20H~7EH、但し 22H 除く) 1~16 桁
デバイス名	SATO MOBILE PRINTER	制御コード以外の ASCII 文字 (20H~7EH、但し 22H 除く) 1~20 桁
検索応答設定	チェックあり	デバイス検索にตอบสนองするかどうか設定します。
ISI ※1	800	有効範囲 : 0015~1000 HEX
ISW ※1	12	有効範囲 : 0012~0997 HEX
PSI ※1	800	有効範囲 : 0015~1000 HEX
PSW ※1	12	有効範囲 : 0012~0997 HEX

※1 PT200/PT400 互換モードの時は 16 進数の a~f は指定できません。また、PT200/PT400 互換モード時に Bluetooth 画面を開いた場合、ISI、ISW、PSI、PSW の値は常に初期化されます。

3. 「設定」をクリックしてプリンタに設定値を登録します。

プリンタ設定ツール

4. 設定が完了すると下の画面が表示されます。「OK」をクリックし、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

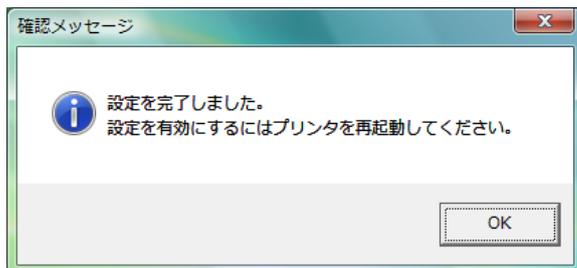


図 7-4-4 設定完了画面

プリンタ設定ツール

7.5 プロトコル設定

1. 「プリンタ設定(P)」メニューから「プロトコル設定(P)」を選択します。

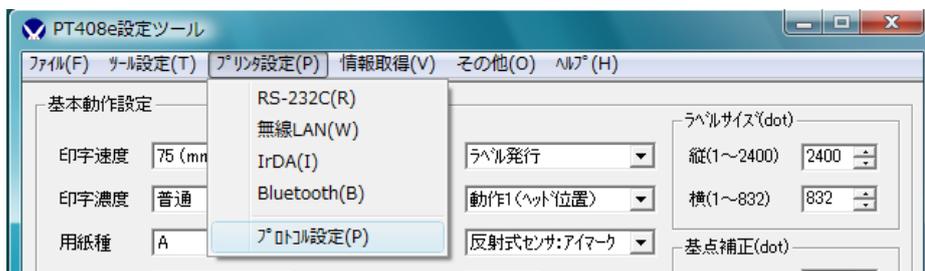


図 7-5-1 プリンタ設定（プロトコル設定）選択画面

2. 設定値を変更します。

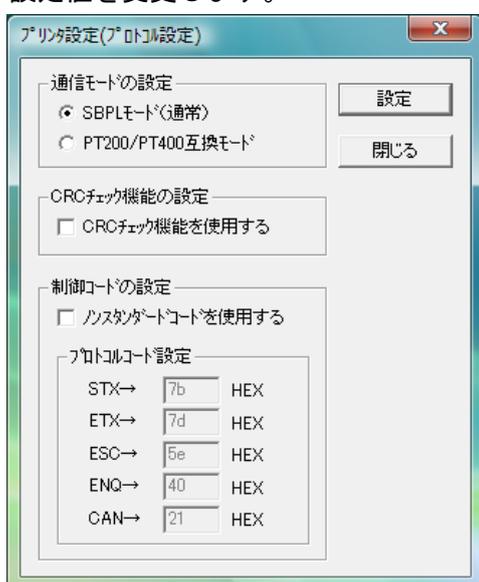


図 7-5-2 プリンタ設定（プロトコル設定）画面

表 7-5-2 プリンタ設定（プロトコル設定）項目一覧表

項目	初期値	範囲	制限
通信モードの設定	SBPLモード	SBPLモード、PT200/PT400互換モード	プリンタ設定画面の「プリンタとの通信方法」でUSBが選択されている場合はSBPLモード固定になります。
CRCチェック機能の設定	OFF	ON、OFF	プリンタ本体側でこの機能が有効になるのは無線LAN、Bluetoothで動作している場合のみです。
制御コードの設定	OFF	ON、OFF	通信モードの設定がSBPLモードの場合のみ有効になります。
プロトコルコード設定		00~FF HEX	他のプロトコルコードと重複する値を設定することはできません。また、プロトコルコードに他の制御コードやコマンド、印字データに含まれるコードを指定した場合、プリンタと通信できなくなる場合がありますのでご注意ください。

プリンタ設定ツール

3. 「設定」をクリックしてください。
4. 設定が完了すると下の画面が表示されます。「OK」をクリックし、設定を有効にするためにプリンタを再起動してください。

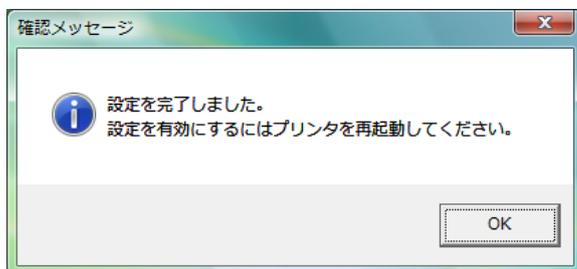


図 7-5-4 設定完了画面

プリンタ設定ツール

8. 情報取得

プリンタから情報を取得する機能を説明します。

8.1 プリンタ情報

1. 「情報取得 (V)」メニューから「プリンタ情報 (P)」を選択します。
※1. メニューから選択した時点で情報取得を自動で行います。
※2. PT200/PT400 互換モードの場合、印字中にエラーが発生している状態では情報取得に失敗します。

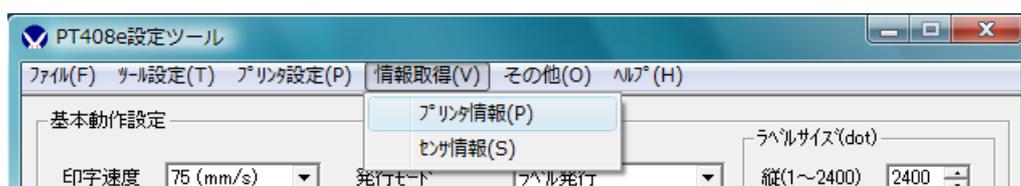


図 8-1-1 情報取得（プリンタ情報）選択画面

2. 「取得」ボタンをクリックするとプリンタに設定されているプリンタ ID、プリンタの状態(ステータス)、バッテリー残量情報を取得します。

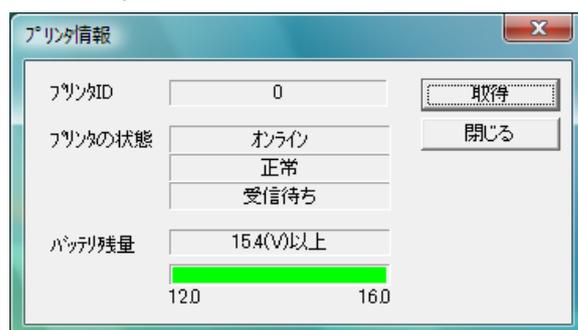


図 8-1-2 プリンタ情報画面

3. 「閉じる」をクリックすると画面が閉じます。

プリンタ設定ツール

8.2 センサ情報

1. 「情報取得 (V)」メニューから「センサ情報(S)」を選択します。

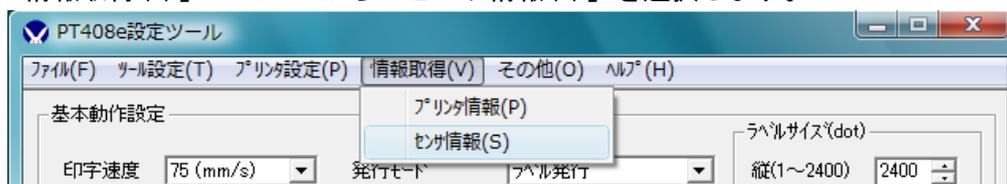


図 8-2-1 情報取得（センサ情報）選択画面

2. 「取得開始」をクリックするとプリンタ本体からセンサ情報の取得を開始します。
※1. PT200/PT400 互換モードの場合、印字中にエラーが発生している状態では情報取得に失敗します。
※2. 途中でプリンタとの接続が切れた場合は直前のデータを表示し続けます。

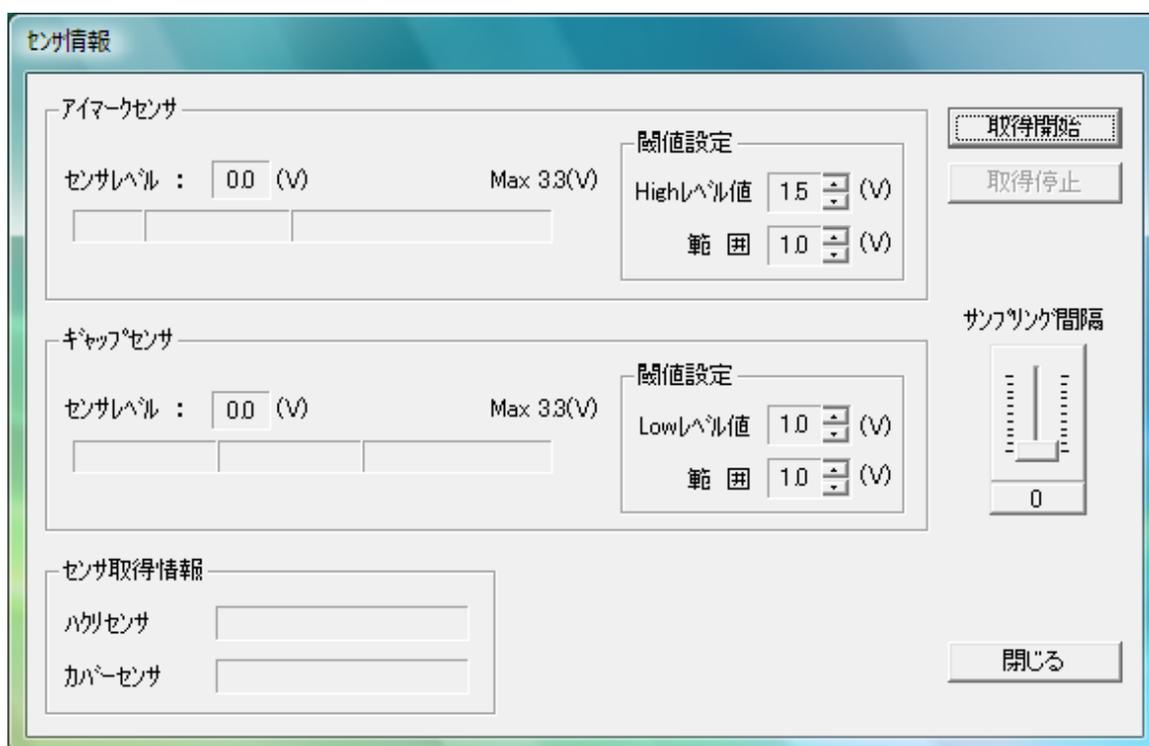


図 8-2-2 センサ情報画面

プリンタ設定ツール

3. 「取得停止」ボタンをクリックすると情報取得を停止します。

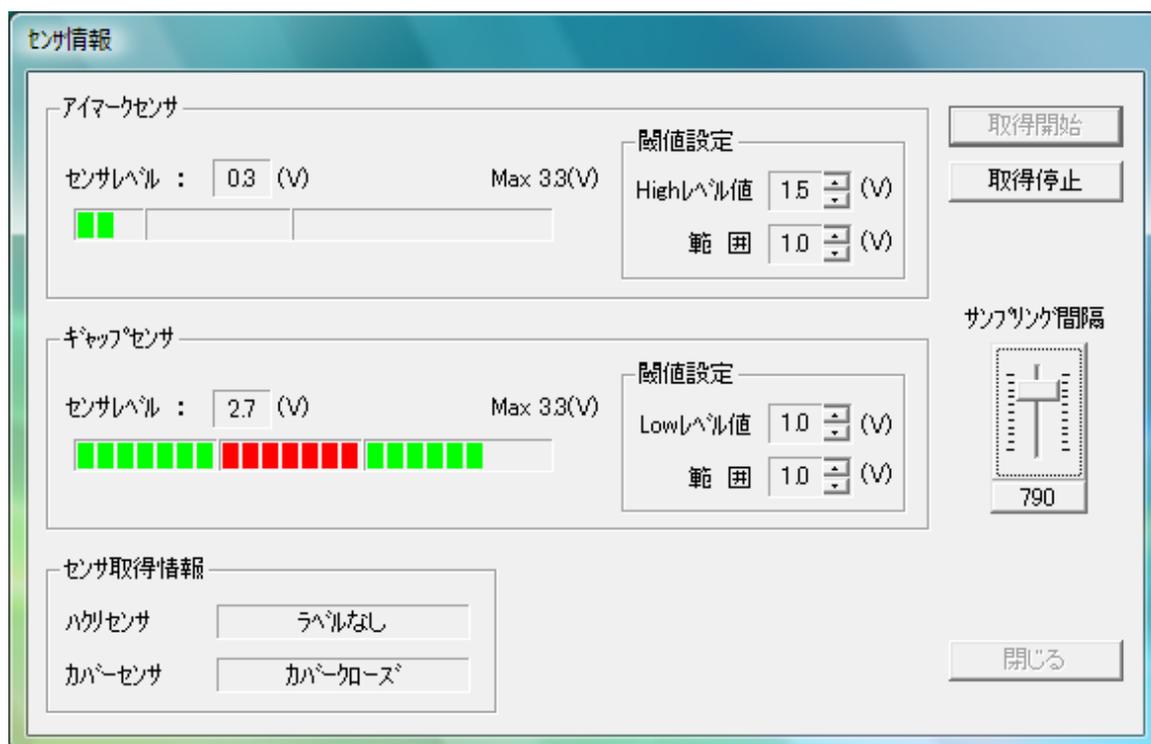


図 8-2-3 センサ情報取得中画面

4. 「閉じる」をクリックすると画面が閉じます。

プリンタ設定ツール

9. その他

「その他(0)」メニューから実行できる機能について説明します。

9.1 プリンタ ID 設定

1. 「その他(0)」メニューから「プリンタ ID 設定(I)」を選択します。
※メニューから選択した時点でプリンタ本体のプリンタ ID 情報を自動で取得します。

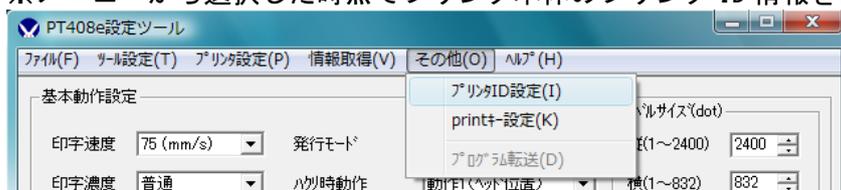


図 9-1-1 その他（プリンタ ID 設定）選択画面

2. プリンタ ID を入力して「設定」をクリックします。

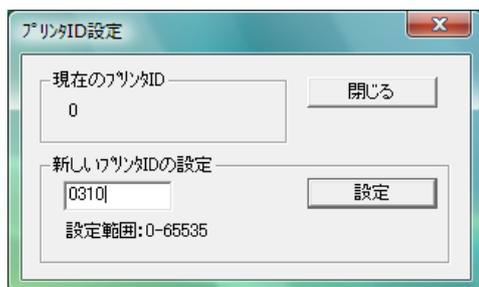


図 9-1-2 プリンタ ID 設定画面

表 9-1-2 プリンタ ID 設定項目一覧表

項目	初期値	範囲
現在のプリンタ ID	0	プリンタに設定されている値が表示されます。
新しいプリンタ ID の設定	0	0～65535 の範囲で設定します。

3. 設定が完了すると下の画面が表示されます。

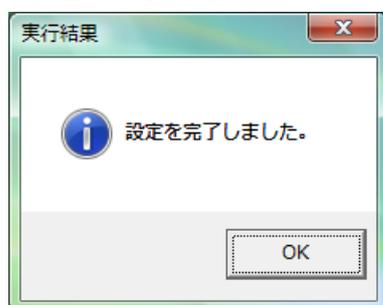


図 9-1-3 設定完了画面

プリンタ設定ツール

9.2 print キー設定

1. 「その他 (O)」メニューから「print キー設定 (K)」を選択します。

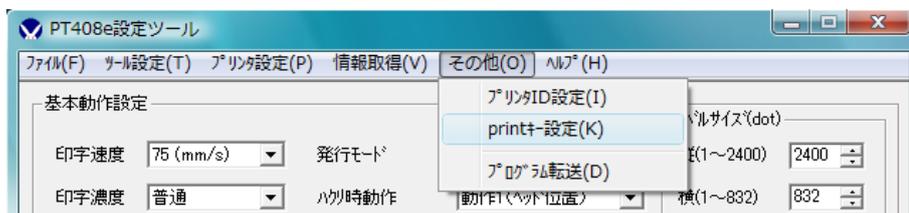


図 9-2-1 その他 (print キー設定) 画面

2. print キーの機能設定を選択して「設定」をクリックします。

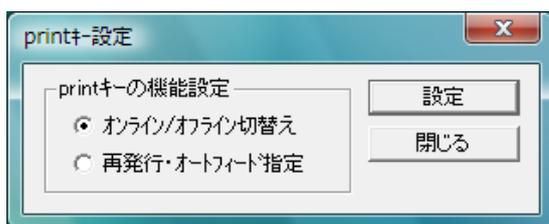


図 9-2-2 print キー設定画面

表 9-2-2 print キー設定項目一覧表

項目	初期値	範囲
オンライン/オフライン切替え	チェックあり	プリンタ本体の print キーをオンラインとオフラインを切り替える機能に設定します。
再発行・オートフィード 指定	チェックなし	プリンタ本体の print キーを再発行・オートフィードを行う機能に設定します。

3. 設定が完了すると下の画面が表示されます。

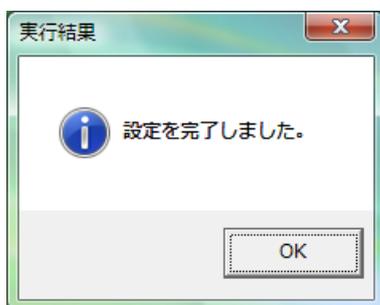


図 9-2-3 設定完了画面

プリンタ設定ツール

9.3 プログラム転送

プリンタ本体のファームウェアを更新する手順を説明します。

※プログラム転送の途中で PC やプリンタ本体の電源が OFF になった場合、プリンタ本体の不具合、故障が発生する可能性があります。この機能を使用したことによって発生したプリンタ本体の不具合、故障は保証外ですのでご注意ください。

1. プリンタの電源が OFF になっている事を確認し、ディップスイッチ (DSW) を以下のように設定します

表 9-3-1 ディップスイッチ対応表

DSW1	DSW2	DSW3	DSW4
OFF	OFF	ON	OFF

2. PC とプリンタ本体を RS-232C ケーブルで接続します。
3. プリンタのカバーを閉じた状態でプリンタの電源を ON にします。
※ファームウェア更新中にプリンタの電源が OFF になる事を防ぐ為、満充電されたバッテリーを使用するか、AC アダプタを使用してください。
4. 「その他(O)」メニューから「プログラム転送(D)」を選択します。
※プログラム転送はプリンタ設定画面のプリンタとの通信方法で「RS-232C」が選択されている場合に有効になります。

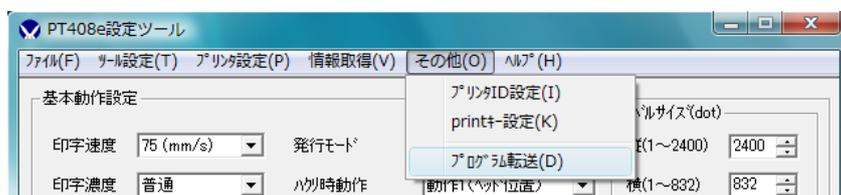


図 9-3-4 その他（プログラム転送）選択画面

5. 「参照」をクリックします。

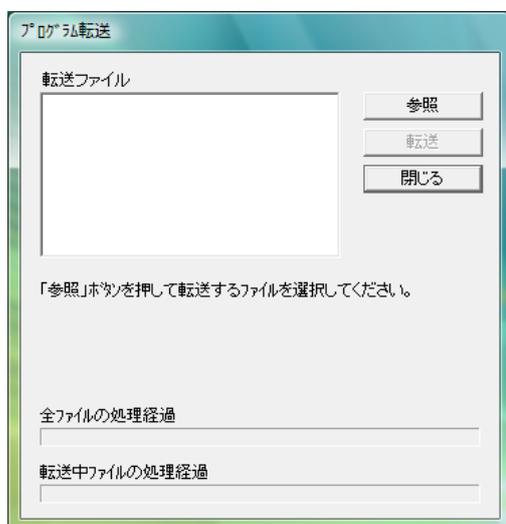


図 9-3-5 プログラム転送画面

プリンタ設定ツール

6. プリンタ本体に転送するファームウェアファイルを選択して「開く(O)」をクリックします。

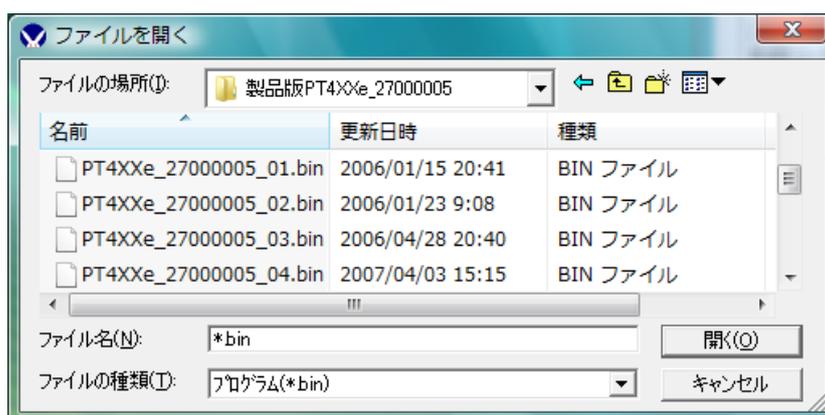


図 9-3-6 ファイル選択画面

7. 転送ファイルを確認して、「転送」をクリックします。

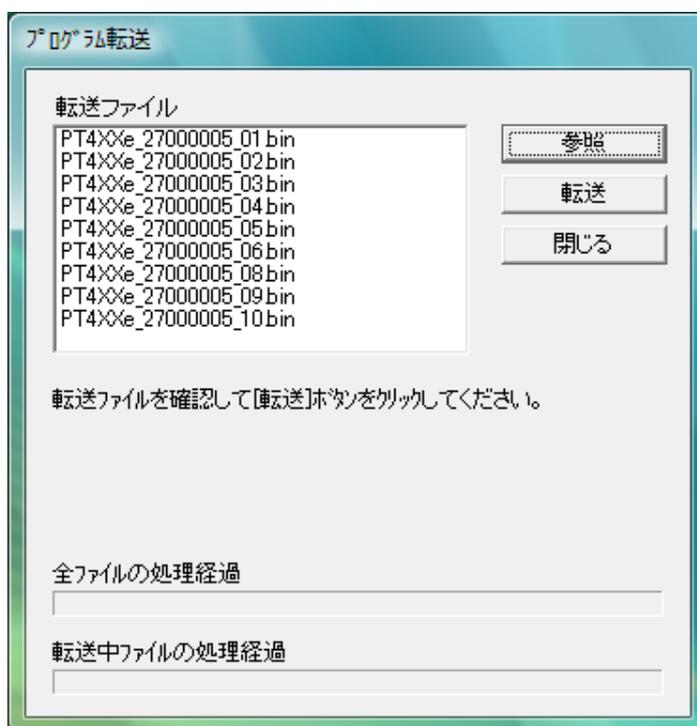


図 9-3-7 プログラム転送前画面

プリンタ設定ツール

8. 転送が完了すると下のような画面が表示されます。「閉じる」をクリックすると画面を閉じます。

※違うプリンタに同じファイルを転送する場合は、RS-232C ケーブルを接続し直して再び「転送」をクリックします。

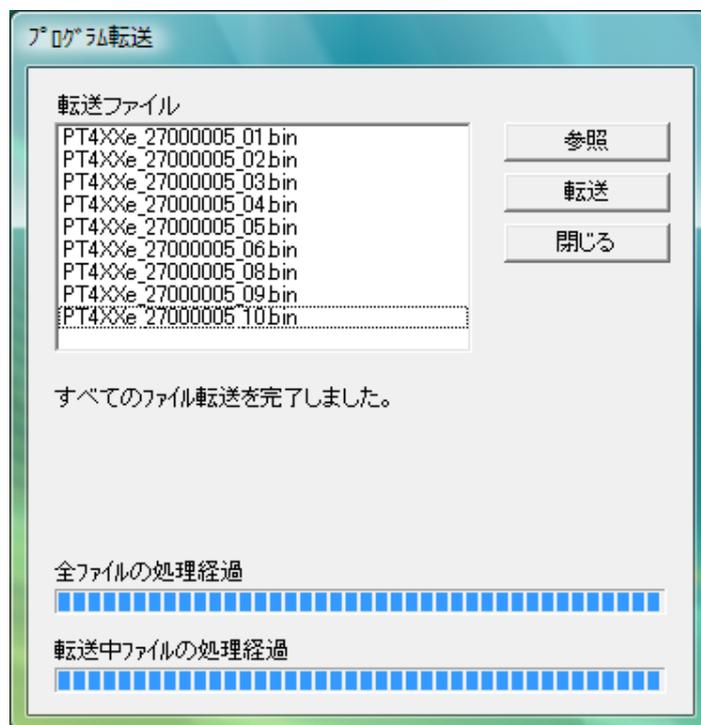


図 9-3-8 プログラム転送完了画面

プリンタ設定ツール

9.4 LED 点滅間隔切替え設定 (PT200e のみ)

1. 「その他 (O)」メニューから「LED 点滅間隔切替え設定 (L)」を選択します。

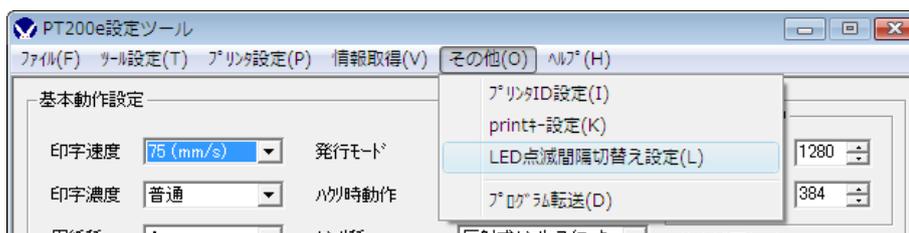


図 9-4-1 その他 (LED 点滅間隔切替え設定) 画面

2. LED 点滅間隔切替えモードを選択して「設定」をクリックします。

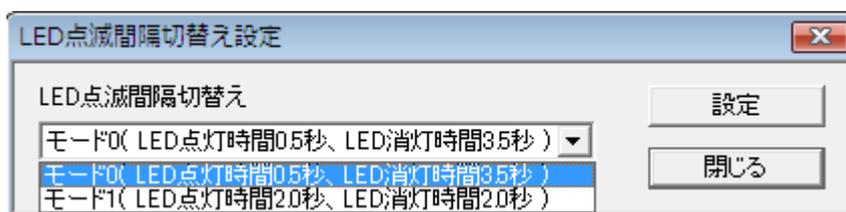


図 9-4-2 LED 点滅間隔モード設定画面

表 9-2-2 LED 点滅間隔モード設定項目一覧表

項目	内容
モード0	LED 点灯時間 0.5 秒、LED 消灯時間 3.5 秒
モード1	LED 点灯時間 2.0 秒、LED 消灯時間 2.0 秒

3. 設定が完了すると下の画面が表示されます。

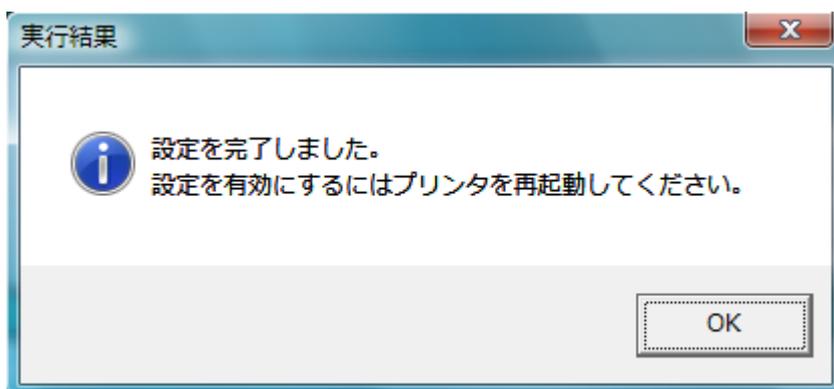


図 9-4-3 設定完了画面